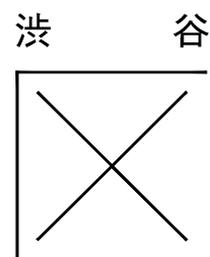
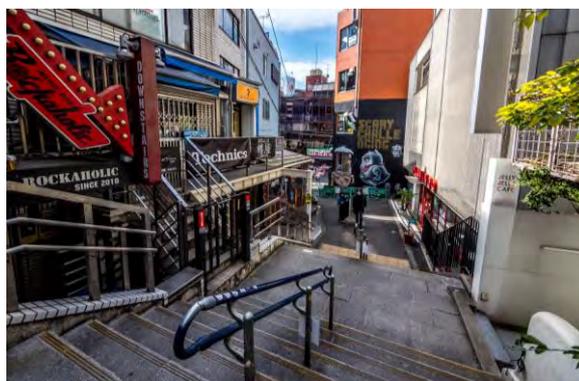


ちがいを  
ちからに  
変える街



# 渋谷駅周辺まちづくり基本理念

2020年4月

## 「ちがいをちからに変える街」に向けて

渋谷区は、2016年10月に『渋谷区基本構想』を策定し、目指すべきは、ロンドン、パリ、ニューヨークなどと並び称されるような『成熟した国際都市』としました。成熟とは、高度な国際競争力と強烈な地域性とを兼ね備えてゆくこと、そして、区民自身が誇りをもってそこで暮らせることであり、世界から注目され愛される街の条件だと考えます。また、それを実現するために、あらゆる多様性（ダイバーシティ）を受け入れ、その多様性をエネルギーへと変えてゆくこと（インクルージョン）、すなわち『ちがいをちからに変える街』であることが大切です。

渋谷駅周辺地域は、世界中の人々を惹きつける文化を発信するエンタテインメント性あふれる土壌と、それに関連した多様な都市機能が混在した個性あふれるエリアや都心型居住も備える地域です。近年は、渋谷駅施設の機能更新と再編を契機に開発の連鎖によるまちづくりにより、その姿を大きく変貌させ、高度な国際競争力も備えるまちの顔も形成しています。

渋谷区を中心であり、世界に発信する渋谷駅周辺地域について「まちづくりマスタープラン」「渋谷駅周辺地域交通戦略」「環境基本計画」「産業・観光ビジョン」といった各分野の上位計画から導き出される将来像を整理し、これからのまちづくりの力点を示すことを目的として『渋谷駅周辺まちづくり基本理念』を策定しました。

変化の激しい現代において、未来を確実に予測することは困難ですが、望ましい未来を想像し、それを実現するために、いまなすべきことを示すことで、望ましい未来に1歩1歩近づけていくことが重要と考えます。

まちづくりの原動力は人です。基本理念を土台に、あらゆる人が、少しずつ力を出し合い、小さな変化を積み重ね、望ましい未来を実現していきたいと思えます。

## Contents

まちづくり基本理念の位置づけと対象範囲	..... p1
まちづくり基本理念の必要性	..... p3
渋谷駅周辺が目指す未来	..... p9
今後のまちづくりの力点	..... p11

# まちづくり基本理念の位置づけと対象範囲

ロンドン・パリ・ニューヨークなどと並び称されるような「成熟した国際都市」を目指すため、渋谷区を中心拠点と位置づけられている渋谷駅周辺地域（都市再生緊急整備地域）の将来像を基本理念として策定します。

## 東京の中の渋谷

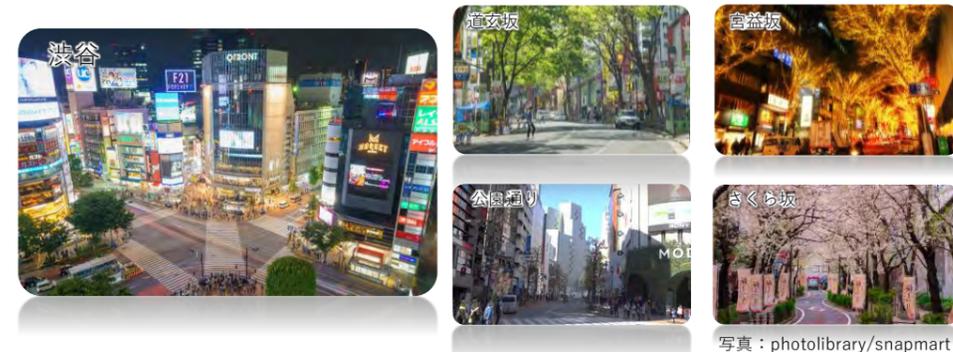
東京における渋谷の役割として、個性ある多様な商業・文化施設の集積を活かし、歩いて楽しい地域を形成し、ファッションやエンタテインメントなどの文化が国内外へ発信されている将来像の実現が求められます。

### [個別の拠点や地域の将来像 渋谷]

出典：都市づくりのグランドデザイン/東京都

- ・駅改良や駅前広場の整備、快適な歩行者空間の充実が進み、個性のある多様な商業・文化施設の集積を生かし、歩いて楽しい地域が形成されています。
- ・駅周辺の建築物の更新が進み、商業・娯楽施設、コンテンツ系産業、文化・交流機能等が高度に集積し、自律分散型エネルギーが確保された拠点が形成されるとともに、ファッションやエンタテインメントなどの先進的な文化が国内外へ発信されています。

### ■東京における渋谷の立地



写真：photolibary/snapmart

## 渋谷区の中の渋谷駅周辺

基本構想で掲げられる「ちがいをちからに変える街」として、ロンドン、パリ、ニューヨークなどと並び称されるような『成熟した国際都市を目指す上で、中心拠点としての渋谷駅周辺の強化が重要です。』

### [目指すべき都市構造 中心拠点ゾーン]

渋谷区まちづくりマスタープラン

- ・道路・交通ネットワークの高い結節性を持ち、広域的な観点から、高度な都市機能が集積する「中心拠点ゾーン」では、高度な国際競争力と強烈的な地域性を兼ね備えて、未来をつくり続けるまちとして、「働く」「遊ぶ」「暮らす」など多様な都市機能の高度な集積を図ります。
- ・駅改良や駅前広場の整備、駅からまちへつながる放射状・環状方向の歩行者ネットワークの整備やバリアフリー化が進み、快適に楽しく歩けるまちが形成されています。

### ■まちづくりマスタープランにおける渋谷駅周辺の位置づけ

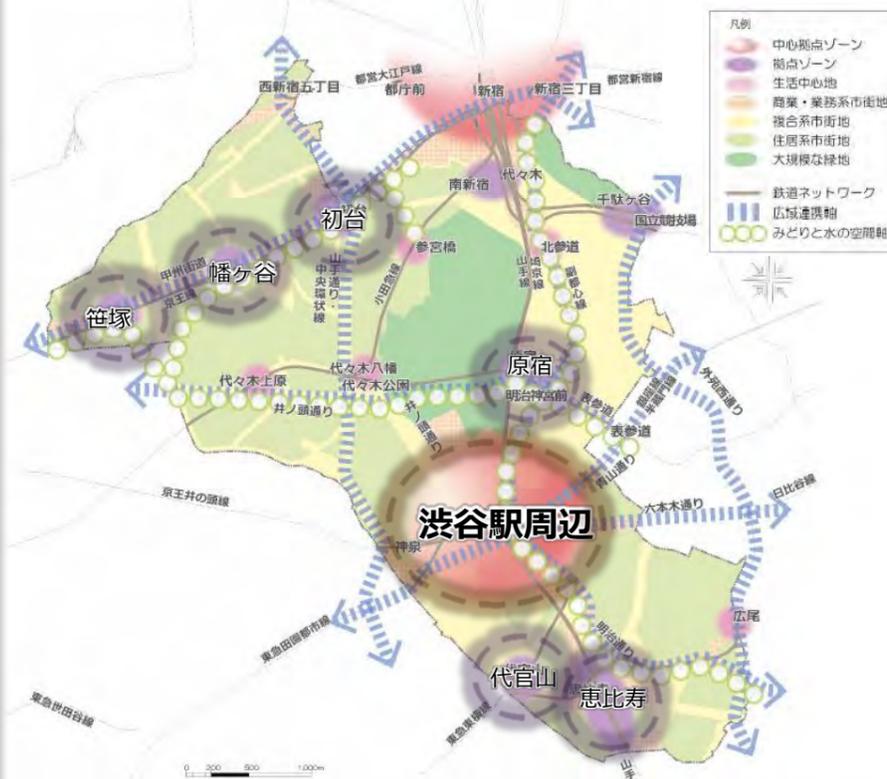


図 将来の都市構造

ゾーンの名称	設定の根拠	役割・位置付け
中心拠点ゾーン	現況：業務商業が高度に集積 特定都市再生緊急整備地域 ターミナル駅 都市づくりのグランドデザイン（東京都、平成29年）が示す拠点（渋谷・新宿）	高度な国際競争力と強烈的な地域性を兼ね備えて、未来をつくり続けるまち「働く」「遊ぶ」「暮らす」など多様な都市機能の高度な集積を図るゾーン



## 渋谷駅中心と周辺の連携へ

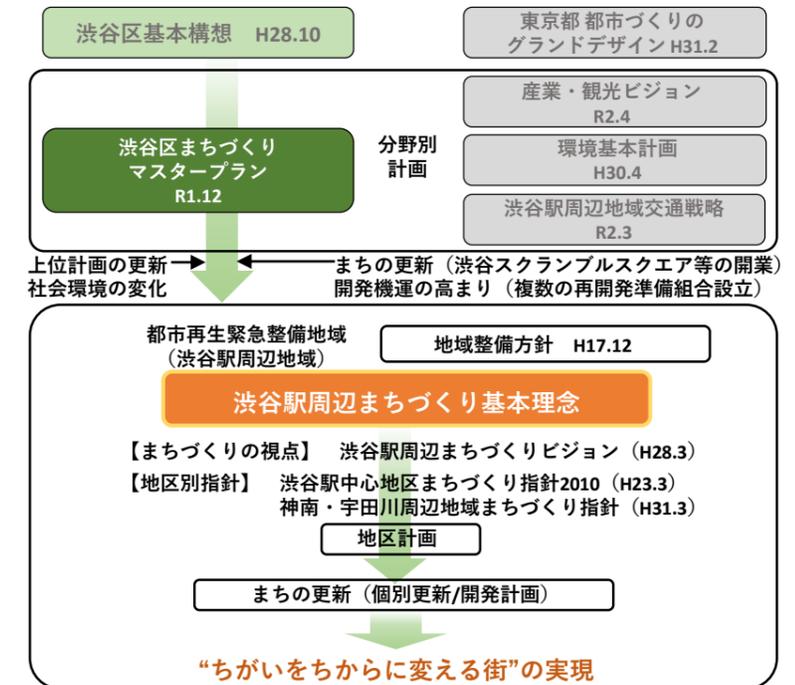
「百年の計」と呼ばれ駅及び都市基盤と複数の再開発が進められている駅中心地区と、開発機運の高まりがある周辺地域が連携するまちづくりにより、世界の中の国際都市を目指します。

### [地域別まちづくりの方針 渋谷駅周辺地域]

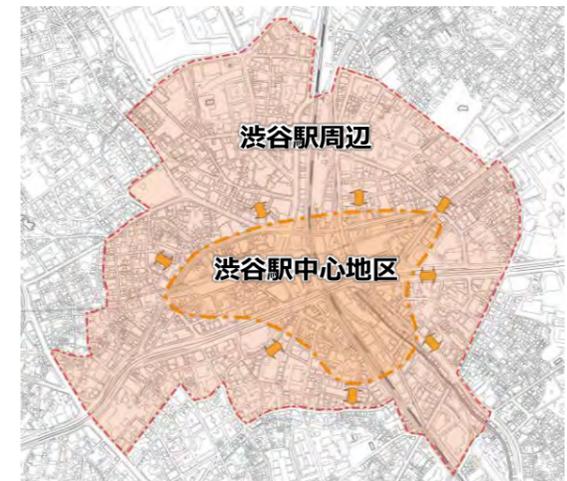
渋谷区まちづくりマスタープラン

- ・渋谷駅中心地区は、駅施設の機能更新と再編を契機とした開発の連鎖により、大きな変貌を遂げつつあります。渋谷駅周辺においても開発の機運が高まっており、渋谷駅中心地区と渋谷駅周辺が連携した「渋谷らしさ」の発展と継承、将来へ向けた持続可能なまちづくりが求められています。

### ■基本理念の位置づけと対象範囲



本基本理念は、都市再生緊急整備地域(渋谷駅周辺地域)の将来像について、関連計画の内容をとりまとめ、その実現方策等について、より具体的な内容を示したものです。



都市再生緊急整備地域（基本理念対象範囲）  
渋谷駅中心地区

# まちづくり基本理念の必要性

## ～2027年頃まで まちづくりの第1ステージ

### 商業都市・情報発信の街としての歩み出し



### 東京オリンピック

### 既成概念に反抗し始めた若者から生まれたブランド



### 1970-

### ストリートカルチャー

### バブル景気による新しいトレンドの始まり



### 1980-

### 若者カルチャー

### バブル崩壊で価値観が変化



### 1990-

### ビットバレー

### 21世紀の到来を感じさせる渋谷の新たな動向



### 2000-

### 2003

### 2005

### 2007

### 2010-

### 2012

### 2010

### 2010-

### 2012

### 2010

### 2010-

### 都市再生緊急整備地域の指定を受け、都市基盤の再編と周辺開発の検討が加速

### 都市インフラ、都市機能の課題 ⇒インフラやまちの更新の必要性

- ・鉄道施設、駅施設の老朽化
- ・駅前広場空間の不足
- ・災害時への対応
- ・幹線道路や鉄道によるまちの分断
- ・高規格オフィスの不足

渋谷は1960年代から急速な商業的發展を遂げるとともに、ストリートカルチャーなど様々な文化・情報を発信するまちとして発展してきましたが、2000年代に入り、渋谷の発展を支えてきた駅を中心とする都市インフラの老朽化等の課題への対応が必要となりました。そのため、次の100年に向けた都市インフラの更新を複数の再開発と連動しながら進めるため、渋谷駅中心地区の将来像として「渋谷駅中心地区まちづくり指針2010」「渋谷駅中心地区基盤整備方針」を策定しました。



# まちづくり基本理念の必要性

## これまで培われてきた渋谷駅周辺の特徴

まちづくりの第1ステージでは、渋谷の特徴的な地形やストリートといった都市構造により強烈な地域性が生み出されてきました。そして、この強烈な地域性が多様な人々を惹きつける吸引力となり、多様な店舗、集客・文化施設の集積、クリエイティブ・コンテンツ産業やスタートアップの集積につながっています。さらに中心地区の再開発により世界から注目される高度な国際競争力を備えるまちの顔も形成しています。

### すり鉢状の地形と放射状街路

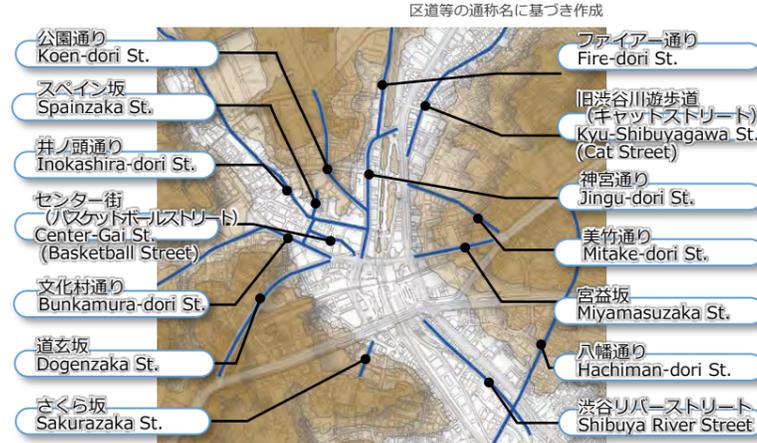


### 個性ある各エリア

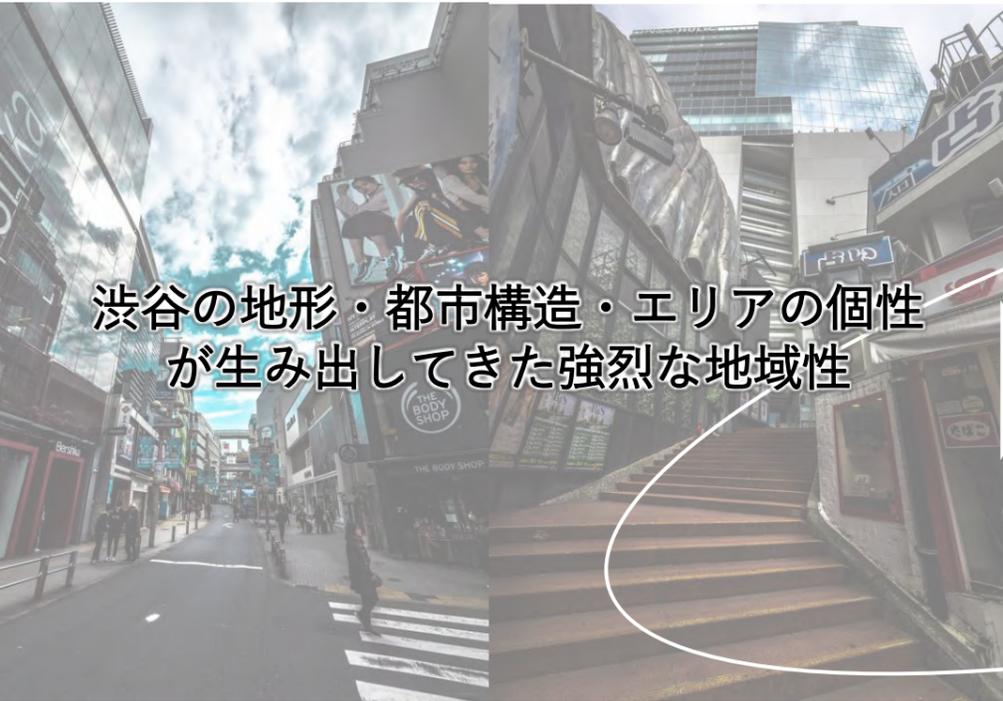


渋谷  
カルチャー

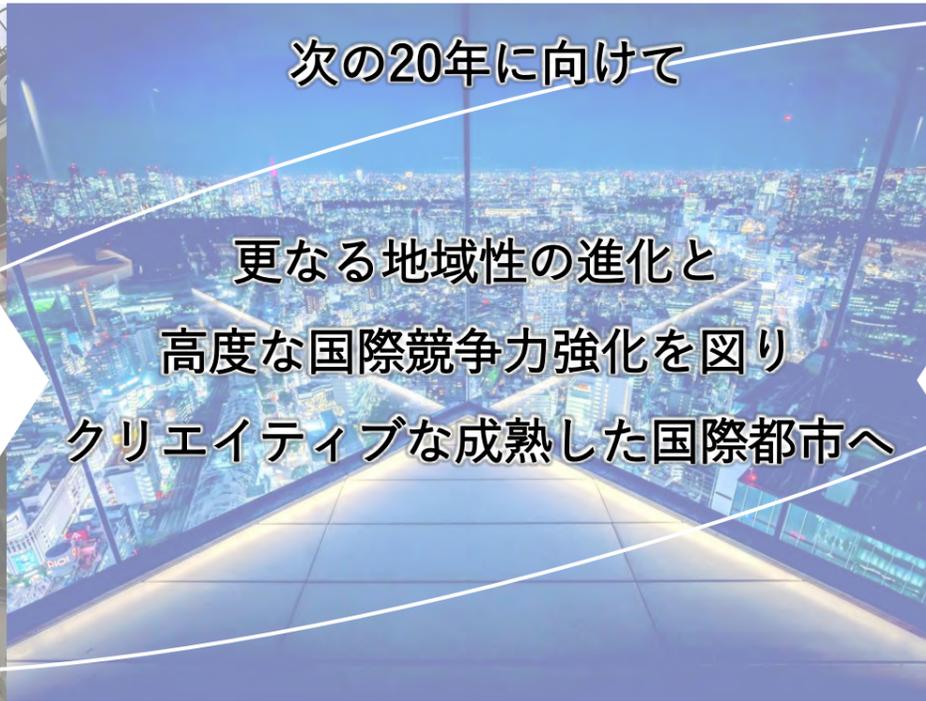
### ストリートカルチャーの醸成



### 渋谷ならではのまちなかイベント



渋谷の地形・都市構造・エリアの個性  
が生み出してきた強烈な地域性



次の20年に向けて

更なる地域性の進化と  
高度な国際競争力強化を図り  
クリエイティブな成熟した国際都市へ

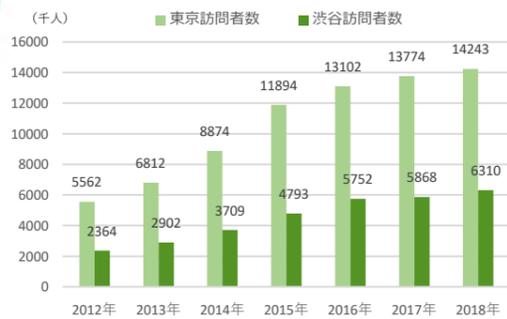


まちの多様性を力に発展してきた  
渋谷カルチャーと国際競争力



観光

出典：東京都「訪都旅行者数等の実態調査結果」  
「訪都外国人旅行者の行動特性」をもとに作成



訪都外国人の  
渋谷を訪れる割合 **約40%**



産業

出典：渋谷区観光・産業ビジョン

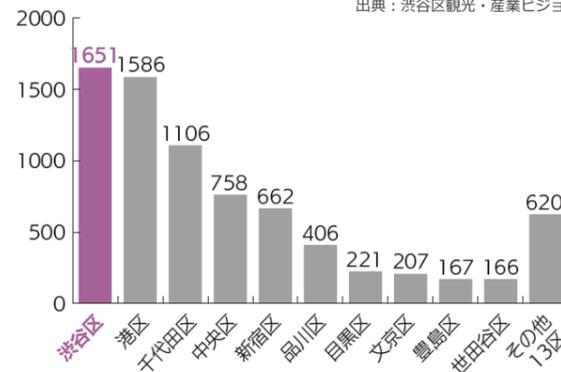


クリエイティブ産業  
従業者割合 **約20%**



産業

出典：渋谷区観光・産業ビジョン

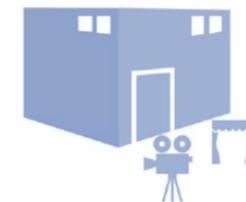


スタートアップの  
企業数 **第1位**  
(23区内)



文化・交流

出典：渋谷区まちづくりマスタープラン



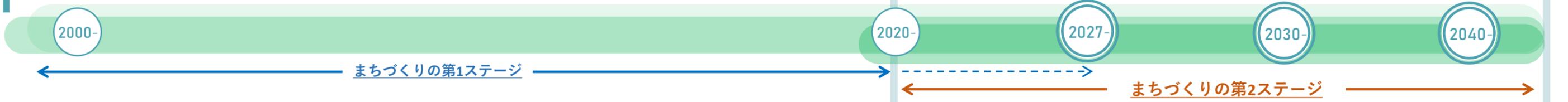
- 集客施設の種類の種類
- ・映画館
- ・公会堂・集会場
- ・劇場・演劇場
- ・展示場
- ・客席を有する体育館・観覧場
- ・その他

集客施設  
渋谷80ヶ所以上 **第1位**  
(23区内)

# まちづくり基本理念の必要性

20年後の未来を見据えた渋谷区全体の将来像が策定される中で、渋谷駅周辺では日々更なる開発・まちづくり機運の高まりがみられます。これらの開発・まちづくりの機運を活かし、変化の速度が速い昨今の社会動向を捉えながらも、渋谷がさらに発展し世界から注目されるまちとなるべく、中心と周辺の連携・相乗効果を生み出すまちづくりの第2ステージを始動します。

## 【2020年以降 まちづくりの第2ステージ】



### 渋谷駅周辺地域

- ・商業的な発展・ストリート文化の醸成
- ・生活文化を発信する拠点としての成熟
- ・多様で個性ある人々を惹きつけるまち



### 渋谷駅中心地区

- ・都市機能の充実による高度な国際競争力
- ・多層にわたる歩行者ネットワークの構築
- ・都市基盤（防災・広場・鉄道等）の強化



### 渋谷駅周辺地域全体

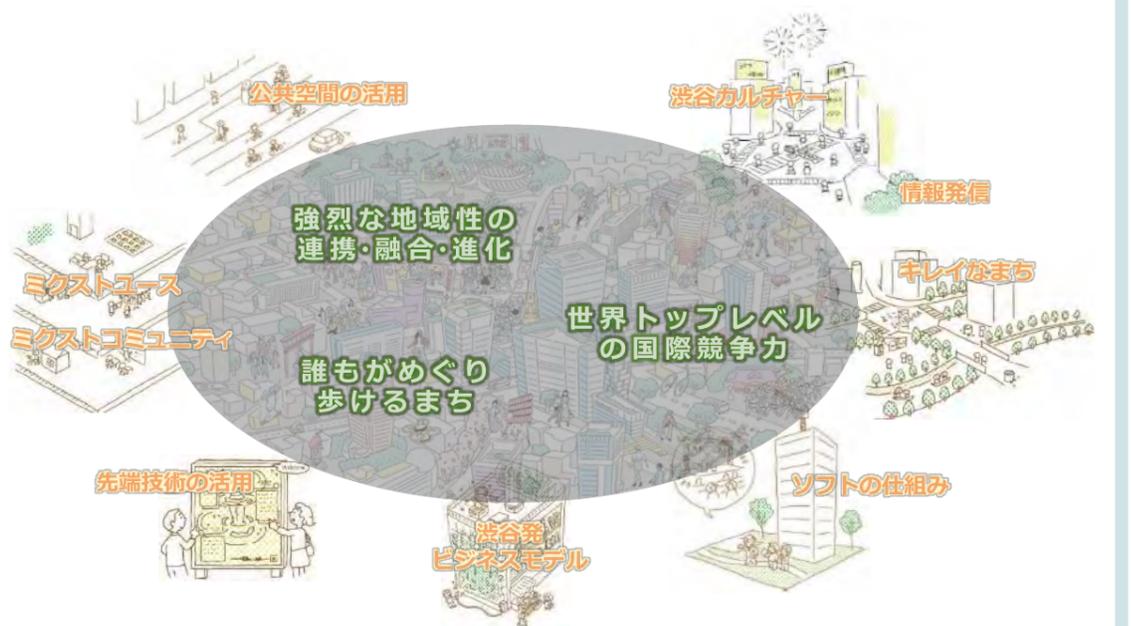
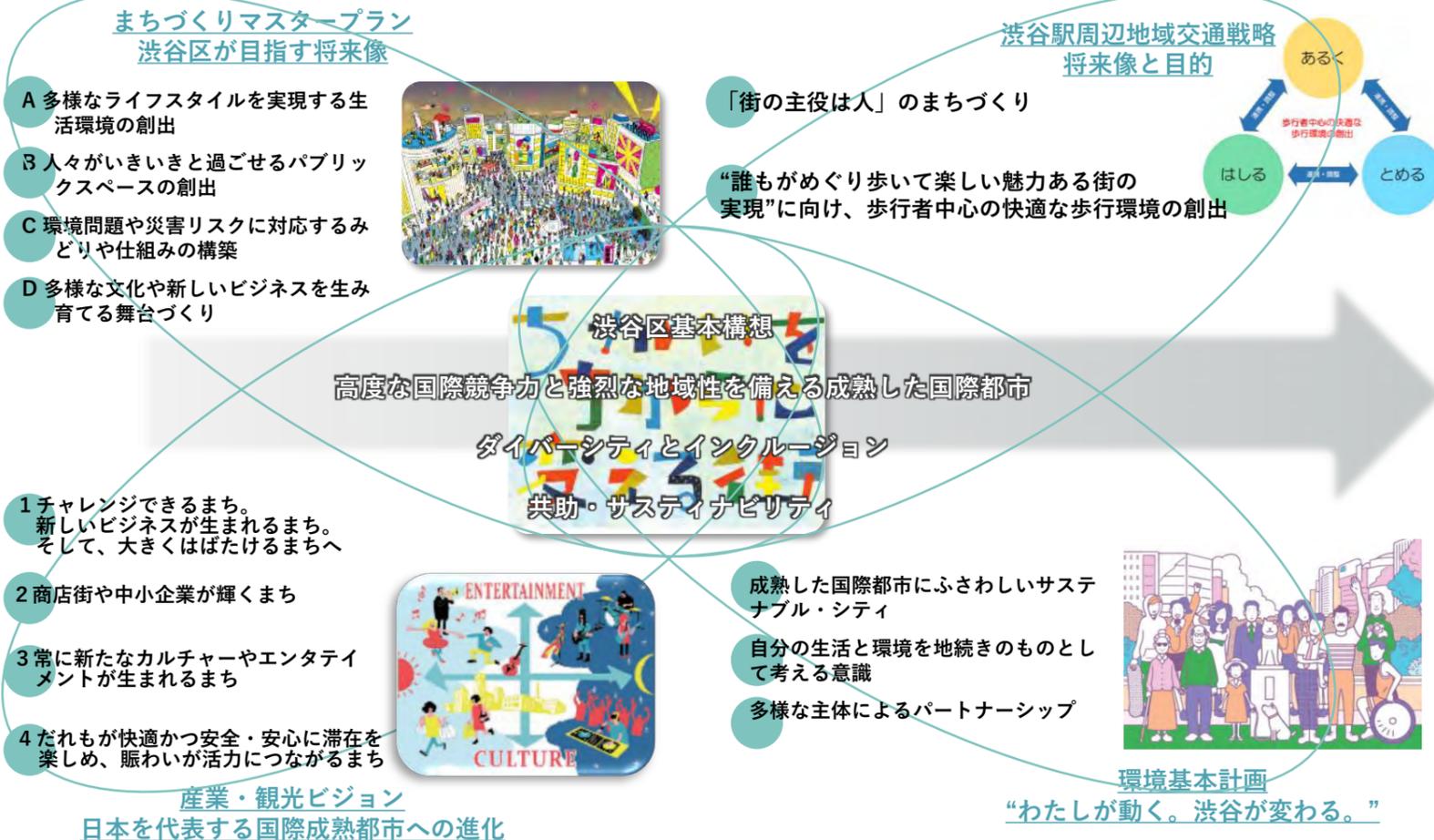
強烈で多様な地域性を醸成してきた渋谷駅周辺地域が、渋谷駅中心地区が備える情報発信機能と高度な国際競争力、そして安心・安全な都市基盤とつながるまちづくりの推進を図り、より一層の渋谷の魅力向上を目指す



中心と周辺の連携・相乗効果を生む、未来を見据えた渋谷駅周辺地域全体の道標となる基本理念

## 渋谷区全体の将来像

基本構想、まちづくりマスタープラン、渋谷駅周辺地域交通戦略、産業・観光ビジョン、環境基本計画等の上位計画から見える渋谷区全体の将来像



まちづくりの第2ステージ。20年後、次世代に残したい渋谷の姿は...「ちがいをちからに変える街」「主役は“人”」

チャレンジしやすいまち  
連携し、成長できるまち  
自分の居場所があるまち  
世界から注目されるまち

それは渋谷で何か始めたいと思う全ての人々が挑戦しやすい環境が整っているまち  
それはいつでも刺激的なヒトやコトに触れられて成長できる環境が整っているまち  
それは渋谷を足掛かりに成長した人たちが渋谷に関わり続けたくなる故郷のような受け皿があるまち  
それはあらゆる世代が渋谷を舞台に誇りをもって活動しているまち

「ちがいをちからに変える街」を目指すまちづくりの力点

Diversity

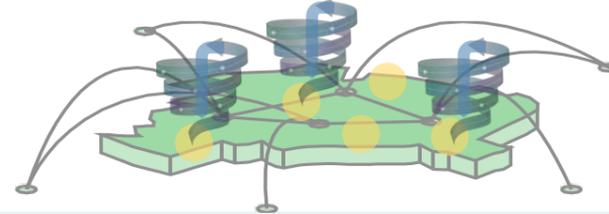
日々何かを生み出す創造的な環境を支える多様性



&

Inclusion

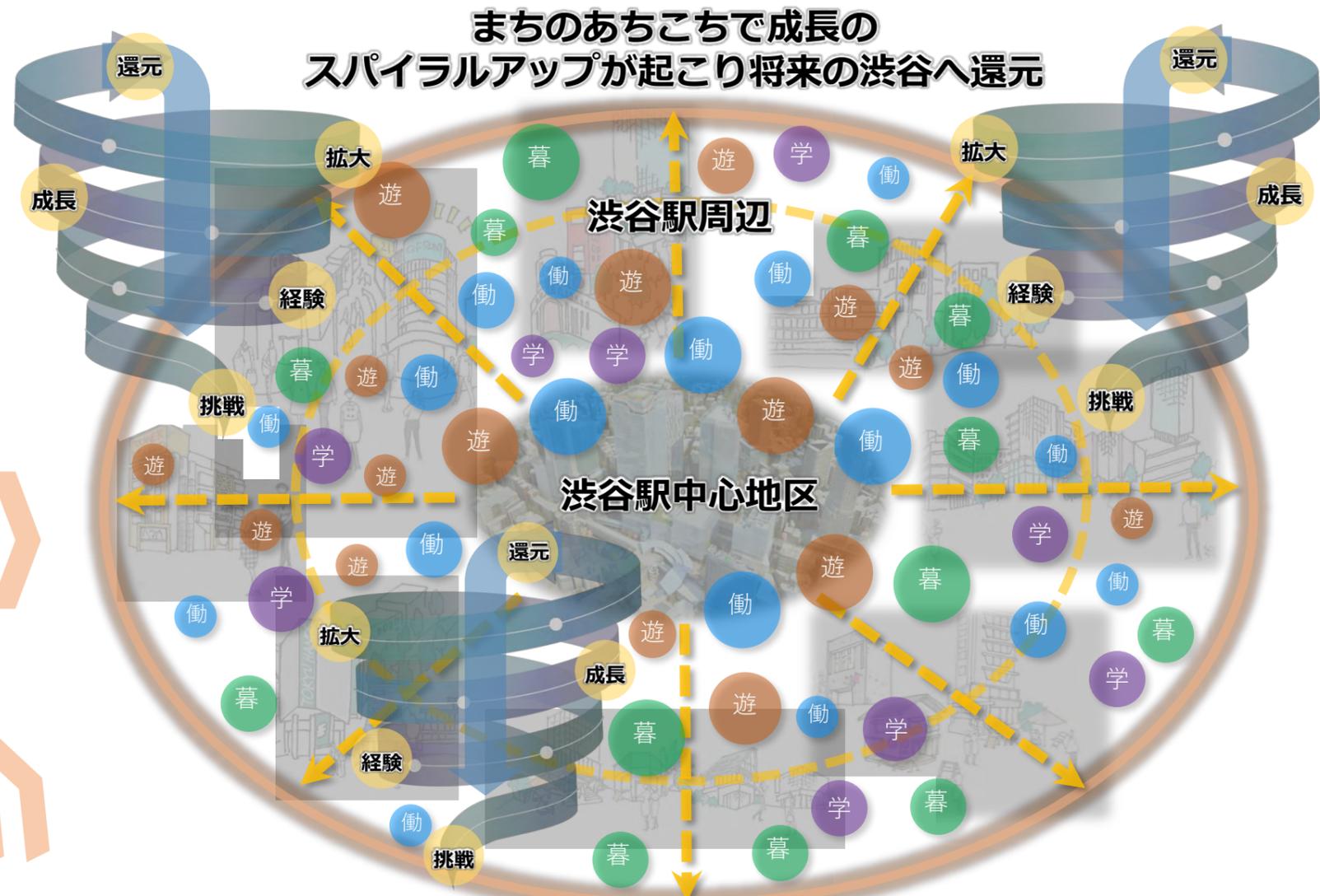
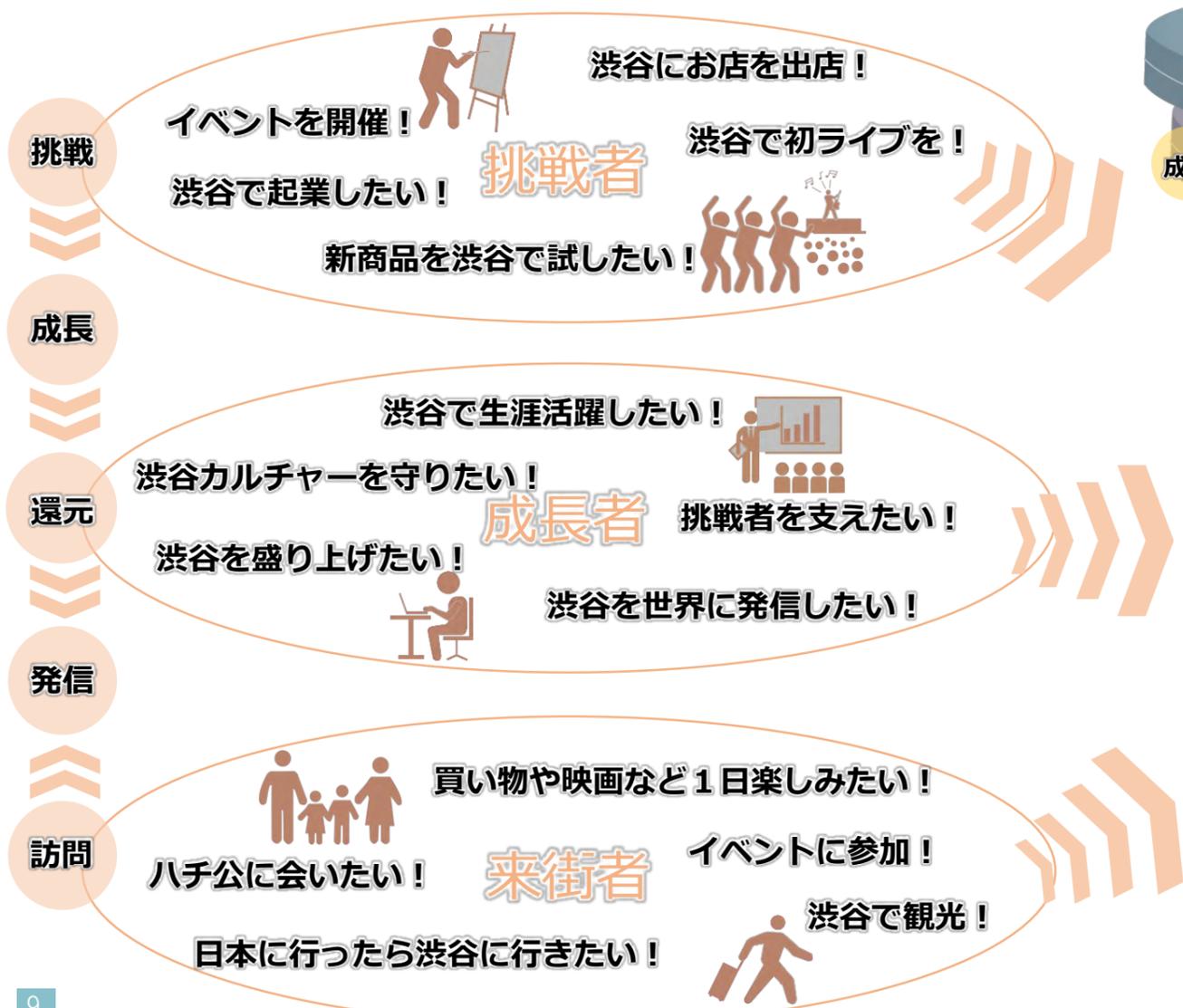
連携を生み、挑戦・成長を支えるネットワーク



&

Sustainability

まちを持続的に支える基盤・活動・仕組み



歩行者中心のウォーカブルで居心地の良いまちなかを形成

# 今後のまちづくりの力点

## Diversity

日々何かを生み出す創造的な環境を支える多様性



渋谷駅周辺地域は、これまで多様な文化を生み出し続けてきた。これらの文化を残し活かしながら、新たに多様な人・機能・産業が高度に集積し交わる環境を誘導することでイノベーションを起こし、渋谷ならではの新しい価値と文化を生み出し続けることで、渋谷がさらに発展し、持続的な成長をし続けるまちを目指す。

### 渋谷駅周辺での未来

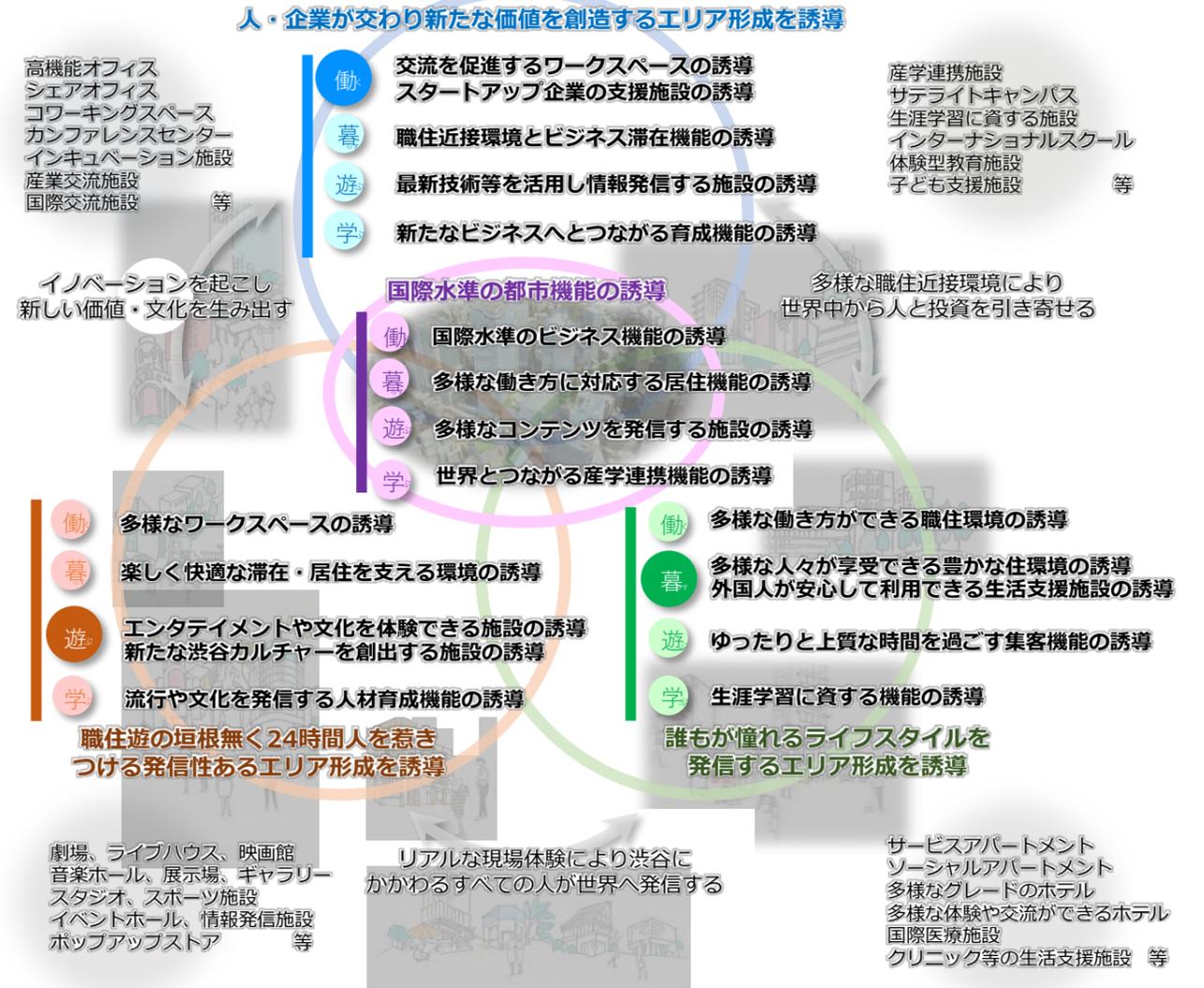
- 業務、商業・エンタテインメント、コンテンツ系産業、文化・交流機能、居住・生活機能等が複合的に集積し、生み出される先進的な文化・産業が国内外へ発信され、世界中の人々を惹きつけています。
- 駅周辺の施設の更新が進み、まちの顔・シンボルとなるスケールから、界索性ある街並みを生むスケールまで、渋谷を体現する多様なスケールが共存したまちが形成されています。
- 歴史的資源や伝統、土地の持つ記憶を活かしたまちとなっています。



## まちづくりの力点

### ①渋谷が渋谷らしくあり続けるために、多様性を追求しよう！！

- 「創造文化都市」として、世界中の人を惹きつける「働く、遊ぶ、暮らす、学ぶ」といった多様な用途が、「大・中・小」の多様な規模でのミックス・集積・積層していくまちづくりを誘導する。
- オフィス街・歓楽街・住宅街といった既存のまちの特性を活かしながら誘導を図る。



### ②大中小のまちのスケール感を大事にしよう！

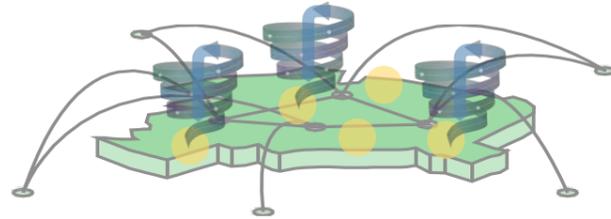
- 渋谷駅周辺地域は、地形や時代の変遷に応じて様々な路地ができ、様々なスケールの建物が混在してきたことで、渋谷らしい特徴のある景観やストリートカルチャーが形成されてきた。
- 今後、まちの更新においても、これまでの渋谷らしい多様なスケール感を継承し、大街区化による街のシンボルとなるスケール、連続したまちのにぎわいを形成するスケール、界索性のある街並みを生むスケールが、各地区ごとに個性を放ちながらも共存するまちづくりを進め、それを実現するための仕組みづくりを推進する。



写真出典：渋谷駅周辺まちづくりビジョン等

## Inclusion

連携を生み、挑戦・成長を支えるネットワーク



### 渋谷駅周辺での未来

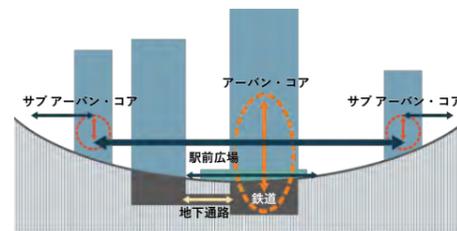
- 駅からまちへつながる放射状、まちとまちをつなぐ環状方向の多層にわたる歩行者ネットワークの整備やバリアフリー化が進み、誰もが快適に楽しく歩けるまちが形成されています。
- 快適な歩行者ネットワークと休憩や交流ができる広場の整備により、回遊性の高いまちが形成され、渋谷駅周辺地域全体が国際的な観光・商業エリアとなっています。
- 路面店や坂道を活かしたストリート空間が形成され、パブリックスペースが様々な活動の舞台として機能し、渋谷カルチャーの発信基地となっています。
- クリエイティブな人材やスタートアップ企業が集まり、地域や企業と連携・交流し、刺激あうことで、新たな産業、文化、エンタテインメントが生み出されています。



## まちづくりの力点

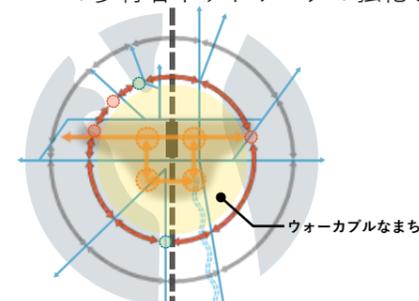
### ①誰もがめぐり歩いて楽しい快適なまちを追求しよう！

- 誰もが快適に移動ができるように、駅中心地区のアーバン・コアの強化と、サブアーバン・コアの整備誘導を図る。

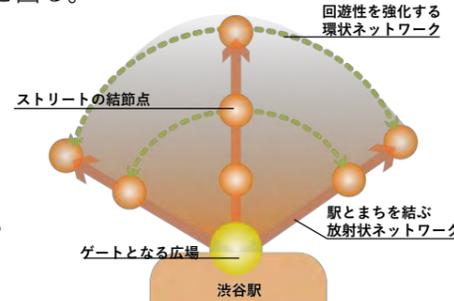


- 地下およびデッキから地上に誘導する、まちに開かれた縦軸空間「アーバン・コア」の整備
- 民間事業等と連携し、施設内エスカレーター等を活用した「サブアーバン・コア」の整備

- 駅からまちへつながる放射方向と、各地区をつなぐ環状方向の歩行者ネットワークの強化を図る。



- 丘と丘をつなげるスカイウェイの整備
- 鉄道や幹線道路の分断を解消する多層にわたる歩行者ネットワークの形成
- 地下歩行者ネットワークの拡充・強化



- 駅からまちへと連続する歩行者デッキの形成
- 環状方向の歩行環境の拡充・強化
- 地下歩行者ネットワークの拡充・強化
- 回遊性を高める民地内歩行者通路
- 大山街道をはじめとした歩行者空間の拡充

### ②新たな交流・文化・情報発信の舞台となるストリートを共に創ろう！

- パブリックスペースを新たな文化を生み出す場として活用し、ストリートカルチャーの振興を図る。

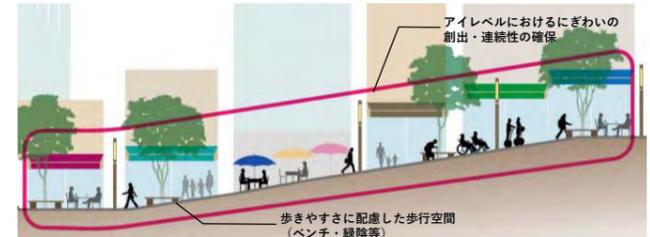


ストリートの活用

社会実験

- 歩行者天国化に向けた社会実験
- パブリックアート、ウォールアートの活用
- ファッション、音楽、食文化、芸術、スポーツ等のイベントの実施

- ストリートに面する建物低層部には連続した賑わい機能や開放感ある空間整備、坂を活かした設えを誘導する。



- 各地区の地域性とストリートの個性を活かした路面店
- まちに開かれた空間整備 (アトリウム・オープンカフェ等)
- 歩道空間と一体となったまちの回遊性を高める広場の創出
- 坂の勾配を活かした建物低層部のデザイン

### ③産業創造の場、文化・エンタテインメントの拠点形成を更に進めよう！

- 出会いと連携によるイノベーションが起こるきっかけとなる場の整備促進を図る。



- スタートアップ支援施設、インキュベーション施設等の誘導を図り、産業創造のための環境を形成
- 国際交流施設、産学連携施設等の誘導を図り、新しい価値創造の場を形成

- 世界も視野に入れた文化・エンタテインメントに関する情報発信の中心となる拠点の創出を図る。



- 世界中のクリエイティブな人材を惹きつける拠点創出、イベント実施
- 外国人や障がい者等あらゆる人々が文化芸術活動に参加できる場の創出
- 渋谷カルチャーを牽引するエンタテインメント施設の誘導

- 文化・エンタテインメントに関する施設間の連携を図り、総合的な情報発信の誘導を図る。



- 様々な文化施設やエンタテインメント施設が相互に連携し相乗効果生まれるような情報の集約化やイベントの実施
- 各施設の情報を連携・集約し、総合的に発信する仕組みづくり

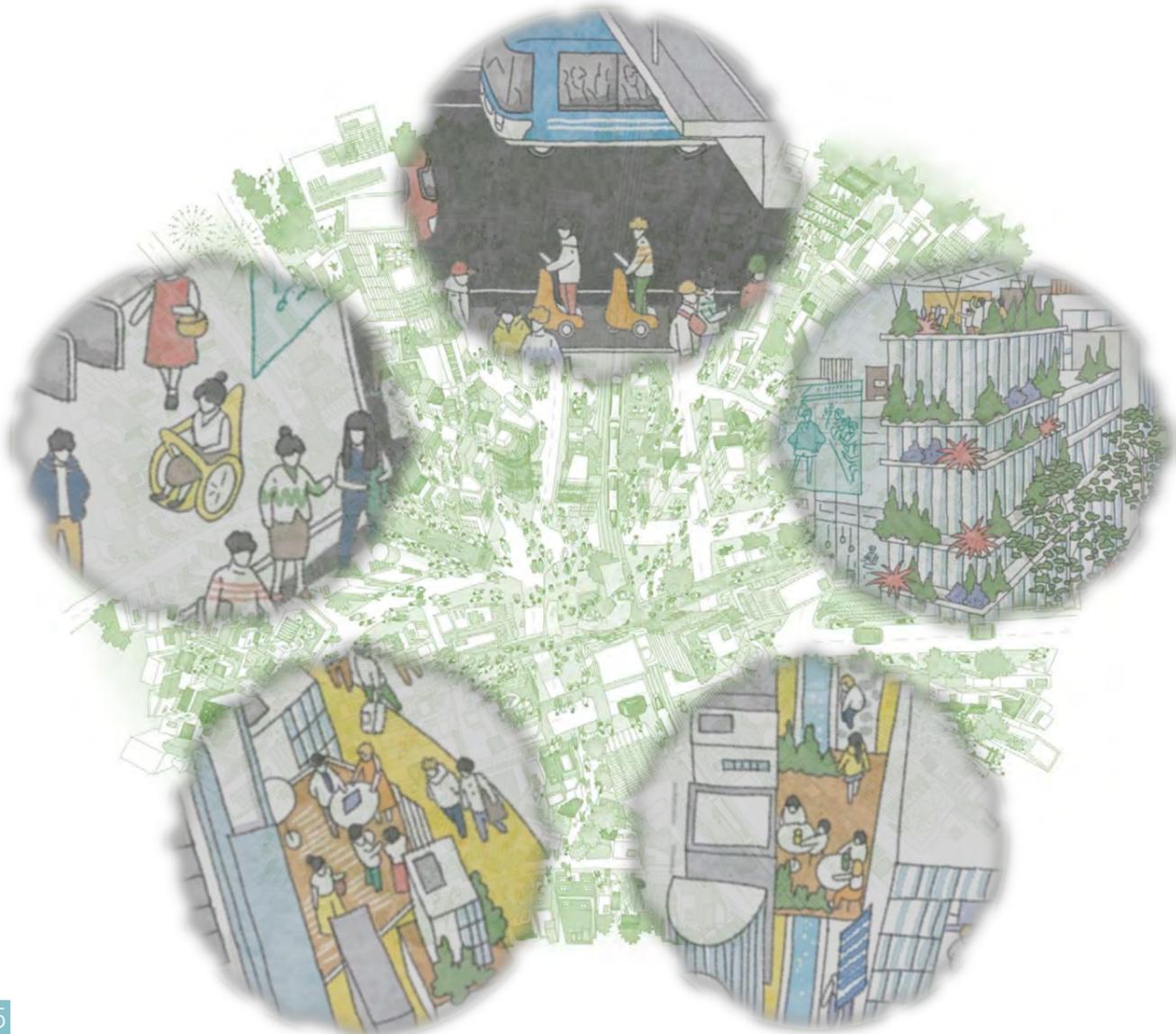
## Sustainability

まちを持続的に支える基盤・活動・仕組み



### 渋谷駅周辺での未来

- 地域も来街者とともに、24時間、キレイなまちで安全・安心な活動環境が整えられています。
- 再生された渋谷川の水辺空間を軸に、街路樹や民地内の広場、建物の屋上や壁面を活用した緑化などによるみどりのネットワークが形成されています
- 駅からまち、エリア間をつなぐ自動運転バスやパーソナルモビリティなど新しい交通体制の構築、先端技術を活用したエネルギーの高効率化などの推進により、サステナブルな都市が形成されています。
- 若者からお年寄り、障がい者など様々な主体が自由に集まる場があちこちに作られ、渋谷の未来が活発に語られ、そこから動き出したプロジェクトが世界を変えようとしています。

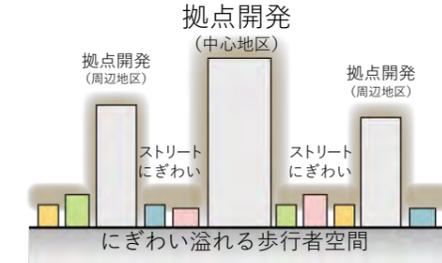


## まちづくりの力点

### ①ターミナル駅周辺としての防災力と24時間都市としての防犯力を向上しよう！

- 建築物の耐震化や不燃化を促進し渋谷らしいまちの更新を図る。
- 関係機関や企業等との連携を強化するなど災害に強いまちづくりを推進する。
- 昼夜を通して健全な活動を支える、まちづくりと連動した清掃、防犯対策を推進する

-拠点とストリートが共存した街のイメージ-



- ・燃えない、倒れない、震災に強い安全なまちの実現に向け、老朽化建物の建替促進や耐震化、不燃化を図る。
- ・再開発等による建替時に防災上有効な広場の整備を誘導

-災害時情報発信-



- ・帰宅困難者受入れ施設の更なる確保
- ・サイネージ等を活用した避難経路や災害情報の発信機能の向上
- ・備蓄倉庫や非常用発電機設備の整備を促進
- ・駅や地下街等の地下空間の浸水対策を推進

-アロープロジェクト-



-ハロウィン翌日の清掃ボランティア-



- ・防犯パトロール、美化運動等、地域組織を中心とした活動の推進
- ・区民や来街者の安全・安心を確保するための防犯カメラ等の設置
- ・安全・安心が確保される仕組みづくり

### ②サステナブルな都市環境を渋谷から発信しよう！

- まちの回遊を目的とする新たなモビリティの検討を行い、安全で快適なネットワークの構築を図る。
- 街路樹、花壇、屋上・壁面緑化など、道路空間と建物が連携した多様なみどりの充実を図る。
- 地域全体で環境負荷低減を図るため、持続可能な環境技術の導入を推進する。



出典：渋谷駅周辺交通戦略  
-自動運転バス-

- ・新しいモビリティの導入に向けた社会実験を検討し、世界に先駆けた先進的な交通環境形成の構築を図る
- ・環境負荷の低いコミュニティサイクルや超小型モビリティ等の導入



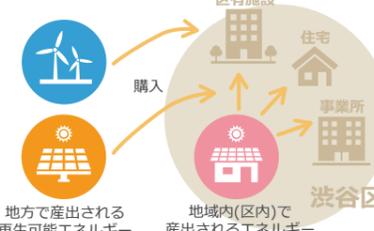
-パーソナルモビリティ-  
写真：PIXTA

-多様なみどりのイメージ-



- ・駅から代々木公園までの緑のネットワーク
- ・意匠性の高い壁面緑化や地域の景観形成に大きく貢献するような建築緑化の推進
- ・渋谷川沿いの機能更新とあわせて潤いとにぎわいが感じられる環境の形成

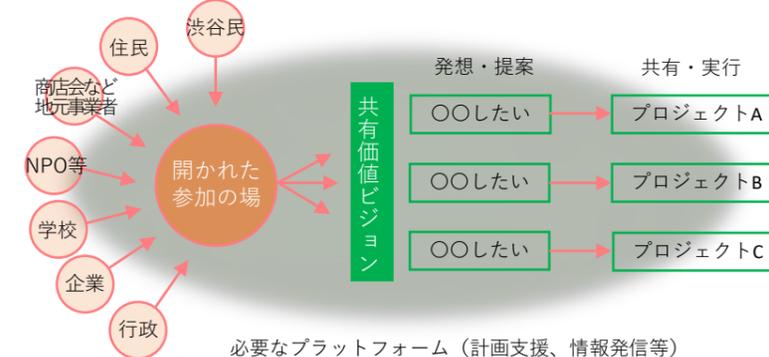
-エネルギーの地産区消のイメージ-



- ・エネルギー利用の最適化を図るスマートエネルギーネットワークの構築
- ・地方都市および区内各地で算出される再生可能エネルギーの活用を推進

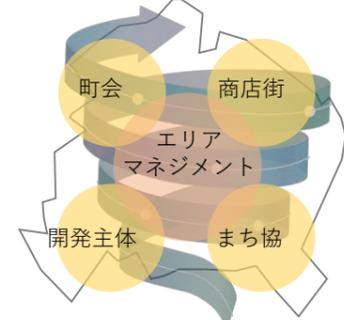
### ③まちの価値を高め、まちの活動を持続的に支える体制を構築しよう！

- 行政、企業、学校、住民、まちづくり団体など、多様な主体の枠を超えて、協業や連携を推進し、お互いがつながることができる開かれた場の創出を図り、渋谷に関わる人が主役のまちづくりを進める。
- 町会、商店会、エリアマネジメント組織やまちづくり団体などの連携強化を図り、協働型まちづくりを促進。



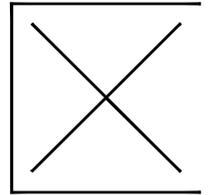
必要なプラットフォーム (計画支援、情報発信等)

-エリアマネジメントのイメージ-





渋谷



YOU  
MAKE  
SHIBUYA

2020年4月  
渋谷区都市整備部まちづくり第三課  
〒150-8010 渋谷区宇田川町1-1 電話 03-3463-2628 (直通)

渋谷駅周辺まちづくり基本理念